

山形県天童市への学生派遣プログラム 2016

テーマ 「天童市の観光マップづくり」

学生ならではの視点を活かして、見た人が天童に行ってみたくなるマップをつくりましょう。また、地元の方も愛着を持てる内容にしましょう。

天童市での現地調査（8月22日～26日）

プログラム1日目（市内視察、天童高校での交流会）（8月22日）

天童市の魅力を発信するためには、まずは自身でその魅力を体験することが必要です。この4泊5日の滞在は、学生が東京で調べた観光資源を実際に訪れ、現地の方からの話を聞くことで、生の情報を得ることを目的としています。

お昼に現地へ到着した一行は、地元の名店「水車生そば」で昼食をとりました。お店で打つそばはもちろん、ほとんどの人が初めて食べる「鳥中華」は中華ラーメンとは違った趣で、大好評でした。その後、群役所資料館で宮城浩蔵先生の胸像を前にその功績を振り返り、続いて、山形空港、温泉施設「ゆぴあ」、市内の産業団地や工業団地などを視察しました。天童市には新幹線、高速道路に加えて、市街地から車でわずか20分程度の場所に空港があり、交通利便性が優れていることを学んだほか、同市のきれいな水を活かして事業を展開しようと、様々な業種の企業が立地していることを知りました。

夕方には、天童高校を訪問し、高校生との交流会を実施し、大学で勉強していることや、サークル活動のこと、高校と大学の違いなどについて懇談しました。また、高校生からは若い人の関心が高い商業施設などについて情報を得ることができ、観光マップづくりに活かすことができました。



プログラム2日目（天童市内視察）（8月23日）

この日は「山寺」「天童高原」「若松寺」「わくわくランド」「げんキッズ」などを視察しました。

市街地から少し足を伸ばせば、すばらしい景観が残るお寺や、キャンプ場が整備された清々しい高原もあり、豊かな自然を楽しめました。また、「わくわくランド」や「げんキッズ」には、大人も楽しめる遊具が充実しており、天童市が子育てに力を入れて取り組んでいることを知ることができました。

夜は宿でグループワークを行い、2日間の振り返りと、翌日以降の視察先を検討しました。



プログラム3日目～4日目（グループごとの活動）（8月24～25日）

限られた時間で効率よく情報収集を行うために、2グループで分担して視察を行いました。24日は、A1グループが「将棋資料館」「西沼田遺跡」「天童公園」など観光施設を中心としたプラン、A2グループが「足湯めぐり」「赤塚製氷」「フルッティア」などの温泉とグルメを中心としたプランで活動しました。25日は、A1グループは「自然」に焦点をあて「じゃがらもがら」や「水晶山」、A2グループは、引き続きグルメに重点を置いて、様々な商店を訪問しました。

両日も夜遅くまでグループワークを行い、その日に得た情報の共有と、マップづくりの方向性について意見交換を行いました。



プログラム5日目（山本市長との懇談会、意見交換会）（8月26日）

最終日は、山本市長と懇談する時間を頂戴できました。市長からは、天童の魅力やこれまでの明治大学との取り組み、今回のプログラムで期待していることなどを存分にお話頂き、学生達のモチベーションもより一層高まりました。

午後は、天童市職員の方々に加えて、山形県の明治大学校友および父母の方々にもご協力頂き、合同の意見交換会を実施しました。はじめに、学生からこれまでの進捗報告を行い、それに対する意見を市職員、校友、父母から頂戴することで、学生・教職員だけでは気がつかなかった観点からのアドバイスを受けることができました。

学生達は、この4泊5日の現地調査で、新しく知ったこと、想像と違っていたことなど、様々な情報を得ることができました。東京に戻った後は、滞在中お世話になって方への感謝を胸に、10月の成果物提出と成果発表会に向けて、引き続き励んでいきます。



山本信治市長をはじめ天童市職員のみなさん、取材に快く応じてくださったみなさん、ご支援ご協力いただき、誠にありがとうございました！

【参考】天童滞在中に取り組んだミッション

2016年度天童市への学生派遣プログラムのテーマは「観光マップづくり」でしたが、学生のより主体的な活動を促進するために、適宜、テーマとは別のミッションを与えていました。以下にそのミッションと学生の回答を掲載します。

ミッション1『以下の観光地について、観光客向けのキャッチコピーを考える』

＜＜A1チーム：望月、小泉、伊藤チーム＞＞

1. 山寺
「1000段の達成感」
2. 天童高原
「空と緑の博物館」
3. げんキッズ
「お母さんのコンビニエンスストア」

＜＜A2チーム：影山、岡崎、宮本チーム＞＞

1. 山寺
「天(そら)に臨む寺」
2. 天童高原
「夏は芝生、冬はリフト、いつもあなたの隣で。」
3. げんキッズ
「ユキの子 ヤマの子 ゲンキの子、いつでも あそべる げんキッズ」

ミッション2『天童での一泊二日モデルツアーを考える』

【条件】

- ・季節は春夏秋冬いつでも可。
- ・ターゲットは東京を中心とした首都圏在住者。年齢は自由に想定してください。
- ・初日は昼12時に天童着、2日目は16時に天童発。
- ・滞在中、レンタカーを利用できます。
- ・市内を出て観光しても可。想定するターゲットに応じて移動距離に配慮してください。
- ・旅行予算の設定はありません。想定するターゲットに応じて相応のプランを検討してください。

＜＜A1チーム：望月、小泉、伊藤チーム＞＞

ターゲットの年齢層→20代前後 男女1人旅、季節→春から秋、泊まるホテル→温泉街のどこか

◎1日目

- 12時 天童駅 着
着後 レンタカー手配
12時半 水車そばで昼食
14時 若松寺へ（上までしっかり登る！）
16時 山寺、登山（時間がなかったら途中まで登る）
18時頃 下山、ライトアップを楽しむ
19時前 ホテル着、夕食

◎2 日目

8 時 50 分まで 朝食、チェックアウト

9 時 舞鶴山巡り 人間将棋、沼、神社（愛宕神社の参道で写真を撮る！）

11 時半 ゆびあ（疲れた体を温泉で癒す、昼食、お土産）

13 時 西沼田遺跡公園

14 時半 フルーティアでパフェなどを食す

15 時頃 天童駅着後、レンタカー返却

最後のお土産を観光センターや、駅周辺で。

時間があれば、将棋博物館を見学。

16 時 天童駅発

※都会では味わえない景色や食べ物を五感で感じてもらえるプランです。

＜＜A 2 チーム：影山、岡崎、宮本チーム＞＞

- ・タイトル:天童スイーツ堪能ツアー～ファミリー編～
- ・ターゲット層: 30 代の夫婦で、小学生の子どもがいるファミリー
- ・想定する季節: 初夏(6 月～7 月中旬)
- ・移動手段: レンタカー

◎旅程 1 日目

12:00 天童駅着(レンタカーを借りて移動)

12:30 「やま竹」にて昼食

13:30 「天童公園」にて散策(途中、フルッティアに寄り道しても尚良し)

15:00 「赤塚製氷」にてかき氷を

16:00 「げんキッズ」に到着

18:00 「ホテル王将」にチェックイン、その後宿泊

◎旅程 2 日目

09:20 「王将観光果樹園」に移動(シャトルバスを利用)

11:00 果物狩り堪能後、ホテルに戻る(シャトルバス)

12:00 「水車そば」にて昼食

13:00 「わくわくランド」にて公園&足湯利用

14:30 「腰掛庵」「武田菓詩」「ハヤシ」にて天童スイーツ購入

15:00 天童駅着、レンタカー返却後にお土産購入

16:00 新幹線発、車内でスイーツを堪能しながら帰宅

◎費用: ¥65000(4 人利用時) + お土産代

ホテル宿泊費: ¥40000(詳細な値段は不明)

昼食代: ¥7200

施設利用料: ¥0

スイーツ費: ¥7856

レンタカー費: ¥6669

雑費: ¥3275

以 上